



# みやま



## 豊津花菖蒲公園

6月9日

今年も「花しょうぶまつり」が開催されました。関係者の努力により、例年に増してきれいな花を咲かせていました。

6月定例会の結果報告 .....	2～6P
議会の活動報告 .....	6～7P
10名の議員が町政を問う .....	8～17P
小学校6年生が議会を傍聴 .....	18～19P
町内の頑張っている団体を紹介 .....	20P

# 6月定例会での 議案に対する討論

## 議員定数14人に!!

議員発議により提出された、議員定数を16人から14人とする「みやこ町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について」が賛成多数で可決されました。

今回の改正で、次の一般選挙より議員定数は14人となります。

### (提案理由)

駐在員会より近隣市町の状況や人口規模等から議員定数を2人削減し14人とする内容の要望書が提出された。本議会は、議員定数を改正する条例案を本会議に提出し、議員各位の意見・意思を表明することとした。

### 反対

趣旨説明によると改正理由は、みやこ町駐在員会からの要望書及び近隣市町との比較対象である。定数を減じることが、議会改革につながるのか合理的理由に乏しく説得力に欠ける改正理由である。議会制民主主義とは何か、二元代表制の意図は何か、町民のために何がベストなのかなどの論点もない。

大切なことは、将来の財政難に備え議員報酬額などを圧縮しながら議会力を高め町民の負託に応えるべきであり、議員を減らしさえすれば良いものではない。定数削減という響きのよい言葉にごまかされてはならない。

次期選挙の有利性を理由に自分が真に正しいと思う考えをごまかすことはできない。

合併して13年を迎えた。若者の定住や子育て支援など人口減少対策に取り組んではいるが少子高齢化は進み、人口も2万人を割る状況となった。今後、地方交付税は削減され町の財政も厳しくなる。行財政改革を進め、更なる行政のスリム化を進めるべきだ。

### 賛成

議員は、我が身を切る改革から進めるべきで、議員の削減をすれば民意が届かないとの町民の声も耳にするが、議員が職責を全うすることによって解決できると確信している。

まずは、身を切る改革を実行するべきと考える。

### 賛成

議員定数を削減することは、選挙を考えれば、まさに身を切られる思いである。しかし、議員は、町民の選挙によって選出され、その町民の意思の反映と町政の発展に寄与することが責務である。

現在進行中の行財政改革は、執行部のみでなく議員も痛みを分かち合っているか。みやこ町は今、行財政改革をより進める時期にある。町民の意見や意思を町政に反映するために、議員の数が多ければ良いとするのは、議員自らが、町民の負託範囲を限定するものである。

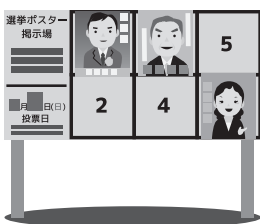
議員定数を2名削減する財政効果は800万円にも満たない。しかし、町民の声に議員が率先して真摯に対応し、町民との信頼関係を得ることの方が極めて大切だ。そのことを通じて、執行部に対しても、より行財政改革に邁進することを期待する。

### 賛成

議員定数は、地方自治法の規定により条例で定めるとされている。しかし、議員の最低限の数については規定されていない。間接民主制をとる地方自治制度の本旨から考えれば、民意を代表するに足るだけの議員数の確保はされなければならない。

地方議会の合理化は、県内市町村を見てもわかるように、自主的努力で行われている。

議会に対し住民から議員定数を削減するよう要望書が提出されているが、言われて行うのではなく議会自ら削減することが議会改革であり、町民に認められるよう努力しなければならない。



# 委員会審査報告

6月定例会で総務・産業建設・文教厚生常任委員会に付託された主な議案の審査概要を報告します。

## 総務常任委員会(6月13日)

中型バス購入に927万6千円補正  
平成12年に購入した中型バスが、劣化し故障も頻繁に発生していることから新たに購入するもの。

## 複合ハザードマップ作成業務に

750万円補正

福岡県は、最新のデータに基づいた県内の洪水浸水想定区域の公表を行っている。町も安全確保の観点から定期的に最新のデータに基づいたハザードマップを作成し住民に知らせるもの。

## 避難所表示板作成業務に70万円補正

昨年度策定した地域防災計画に基づいて、災害の種類に応じた地域住民に分かりやすい避難所表示板を整備するもの。

## オリンピック推進事業に

620万円補正

昨年度、オセアニアオリンピック委員会と豊津陸上競技場を事前キャンプ地とする調印を行った。オリンピック出場を目指すオセアニア地域各国の陸上選手をみやこ町に招き支援するもの。



豊津陸上競技場

## 消防指令センターの整備に

168万5千円債務負担

京築広域圏消防本部指令センターの無線デジタル化や緊急車両への位置情報送信機能等を追加する費用として債務を負担するもの。



## 産業建設常任委員会(6月14日)

## 伊良とびあ館の指定管理者に

合同会社伊良原を指定

県営伊良原ダム周辺施設整備事業で建設された伊良原地域交流施設(伊良とびあ館)の指定管理者に平成30年5月2日に設立された合同会社伊良原を指定し、その期間を平成30年7月1日から平成33年3月31日までとするもの。

## 新しい施設であるので修繕は無いと思うが、今後修繕が発生したときの対応は考えているか。

今後、大規模な修繕や改修が発生したときは、指定管理者と協議しながら対応する。

(意見) 伊良とびあ館ではジビエ料理も提供すると聞いている。食材が不足することの無いように対応して頂きたい。



伊良とびあ館

## コミュニティ助成事業補助金に

1500万円補正

下黒田自治会のコミュニティセンター建設に補助するもの。

## 道路橋梁改良事業に

4億5750万円を補正

(主な事業)

- ・前田道所線測量設計 他9路線
- ・長川橋橋梁補修工事 他31路線

道路幅員は、どのようにして決定しているか。車の離合が出来ないようでは困る。

**A** 交通量等を勘案し決定している。道路幅員については車の離合が出来ない箇所があれば検討している。

**公営住宅建設事業に**

3億3820万4千円補正

(主な事業)

- ・上荒谷団地基本実施設計
- ・小長田団地第8期

建築主体付帯工事

**Q** 上荒谷団地建替えの構想等はどのようになっているか。

**A** 入居者にアンケート調査を行う予定である。その結果をもとに建替えの戸数等を決定したいと考えている。



老朽化した上荒谷団地

**文教厚生常任委員会(6月12日)**

**高齢者支援移動販売業務に**

4万3千円補正

高齢者の買い物物を支援するため、移動販売業務を業者に委託するもの。(今年度は試験運用で町内一カ所を予定)

**Q** 一カ所とのことだが、他のエリアに拡大する予定はあるのか。

**A** 今回の実績を検証するとともに地域のニーズ調査を進め、エリアの拡大については検討する。

**Q** どのような業者を考えているのか。

**A** 業者についてはグリーンコープ生協ふくおかを検討している。

**地球温暖化対策実行計画策定支援業務に993万6千円を補正**

みやこ町の公共施設の温室効果ガス排出量を算出するとともに、国が定める2030年までの温室効果ガス40%削減を達成するよう計画を策定するもの。

**英語教育用パソコンの購入に**

300万円補正

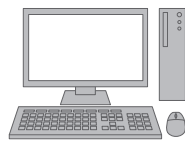
小学校で新たな英語教育が始まる。その授業で使用するために購入するもの。

**Q** 小学校から英語教育を実施することのだが実施年度はいつか。

**A** 国では平成32年度からとなっているが、みやこ町では今年度から5・6年生について70時間の英語教育を行っている。

**Q** 小学校は専科教員がない。学校現場はどのように対応するのか。

**A** 70時間のうち35時間はA L Tと一緒に授業を行っている。また、C D等の教材が教室で使えるパソコンも整備する。



**委員会及び一部事務組合  
議会議員の変更のお知らせ**

橋本真助議員が、任期満了に伴う

みやこ町長選挙(4月15日)に立候補したため、公職選挙法の規定により、失職しました。

同議員の失職に伴い委員等の変更がありましたので、変更した箇所のみ報告します。(◎は委員長、○は副委員長)

**産業建設常任委員会**

- ◎田中 勝馬
- 中尾 昌廣

**議会運営委員会**

- 田中 勝馬

**基地対策特別委員会**

- ◎肥喜里雄二
- 大東 英壽

**議会改革調査特別委員会**

- 田中 勝馬

**行橋・みやこ清掃施設組合議会**

**議員**

- 上田 重光

平成30年第2回定例会を6月7日から6月22日までの16日間にわたり開催しましたので、その議決結果について報告します。

## 平成30年第2回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	議員名	肥喜里雄二	吉竹次男	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	浦山公明	大東英壽	上田重光	中尾文俊	柿野義直	議決結果
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町税条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
専決処分の承認を求めることについて (平成30年度みやこ町住宅新築資金等事業特別会計補正予算(第1号))		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	承認
みやこ町教育長の任命について (屏悦郎氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町教育委員会委員の任命について (榎口広二氏を任命)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町監査委員の選任について (木村太吉氏を選任)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町固定資産評価審査委員会委員の選任について (室原貢氏を選任)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町固定資産評価審査委員会委員の選任について (木村雅晴氏を選任)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町固定資産評価審査委員会委員の選任について (野田昇氏を選任)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
京都郡公平委員会委員の選任について (新谷博美氏を選任)		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	同意
みやこ町税条例等の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町行政不服審査会条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例の制定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町伊良とぴあ館の指定管理者の指定について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
福岡県消防団員等公務災害補償組合規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
福岡県自治会館管理組合を組織する地方公共団体の数の減少及び福岡県自治会館管理組合規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
福岡県後期高齢者医療広域連合規約の変更について		○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

# 平成30年第2回定例会議案議決結果及び議員別賛否一覧表

議案名	肥喜里雄二	吉竹次男	柿野正喜	中山茂樹	小田勝彦	田中勝馬	飯本秀夫	中尾昌廣	金房眞悟	浦山公明	大東英壽	上田重光	中尾文俊	柿野義直	議決結果
平成30年度みやこ町一般会計補正予算(第1号)	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	可決
平成30年度みやこ町水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
平成30年度みやこ町下水道事業特別会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
地方財政の充実・強化を求める意見書(案)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
教職員定数改善と義務教育費国庫負担制度2分の1復元をはかるための、2019年度政府予算に係る意見書(案)について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決
みやこ町議会議員の定数を定める条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	可決

議長は、採決に加わらない。○は賛成、●は反対。

## 議会の活動を報告します!

### 筑豊横断道路建設促進期成会総会

5月7日

筑豊横断道路建設促進期成会総会に出席しました。平成30年度事業計画等の案件が審議されました。

勝山地区を通る国道201号線は、朝夕の時間帯は渋滞し、また歩道も狭く通学する学生等の安全が脅かされています。そのため、一刻も早い整備が待ち望まれています。

町民の安心安全のためにも早期着工されるよう、議会としても期成会等を通じて国に強く要望していきます。



### 全国町村議会議長・副議長研修会

5月28日

全国町村議会議長会主催の研修会に参加しました。毎年恒例となつていますが、今年も多くの議長・副議長等が参加していました。主催者発表では、約1800人とのことです。

事例報告では、特別表彰を受けた福岡県大刀洗町議会が「住民に向き合った議会運営と広報紙づくりを実践」と題して報告を行いました。議会が身近な議会であるためには、特別な対策を講ずるより、日々の活動を住民に知らせる機会を拡大することや、議会が住民に対し出来ないではなく、一緒に考える姿勢が大事であること等を報告していました。

私たち議会は、住民の声を聞き、活動すること。その活動内容を住民に分かりやすく伝える努力をすることの大事さを改めて感じる研修でした。

# 活動報告

4月から6月までの議会及び議長の活動を報告します。

月 日	件 名
4月3日(火)	広報特別委員会
4月4日(水)	町立保育所入園式
4月6日(金)	航空自衛隊築城基地観桜会
4月10日(火)	町立中学校入学式
4月11日(水)	町立小学校入学式
4月13日(金)	広報特別委員会
4月14日(土)	第7回たけのご祭
4月15日(日)	行橋京都地区戦没者合同慰霊祭
4月17日(火)	みやこ町イベント運営委員会
4月18日(水)	京築北九州東部振興会議理事会
4月19日(木)	広報特別委員会
4月21日(土)	犀川福寿会総会
4月29日(日)	吉田学軒顕彰碑献花式
5月9日(水)	京都郡町議会議長会会議
5月14日(月)	航空自衛隊築城基地協賛会役員会
5月17日(木)	京築北九州東部振興会議総会
5月18日(金)	みやこ町高齢者大学合同開校式
5月19日(土)	みやこ伊良原学園運動会、 台湾鐵路管理局・平溪線との姉妹鉄道協定締結式典
5月20日(日)	町立中学校春季体育大会
5月23日(水)	みやこ町女性学級合同開級式、 伊良とびあ館（農家レストラン等）試食会、 みやこ観光まちづくり協会通常総会
5月26日(土)	町立小学校春季大運動会
6月2日(土)	みやこ勝山えびね会山野草展示会
6月6日(水)	第1回みやこ町社会福祉協議会理事会、 大相撲行橋京築場所調印式
6月9日(土)	第13回花しょうぶまつり、上矢山地区ほたる観賞の夕べ
6月11日(月)	基地対策特別委員会
6月16日(土)	みやこ伊良原学園授業参観・校内意見発表会、 町立中学校校内弁論大会
6月22日(金)	広報特別委員会
6月25日(月)	犀川平成筑豊鉄道を育てる会定期総会
6月26日(火)	行橋市議会正副議長就任挨拶
6月29日(金)	みやこ町認定農業者の会総会
6月30日(土)	蛇淵キャンプ場開き及び伊良とびあ館プレオープン行事



たけのご祭



伊良とびあ館試食会



台湾鐵路管理局・平溪線との姉妹鉄道協定締結式典



伊良とびあ館プレオープン行事

Q

## 崎山駅舎の修繕保守を 求める

A

関係者等の了解、  
並びに予算が必要だが是非残したい



飯本 秀夫  
議員

**Q** 駅舎は、地域の公民館的役割を果たしており、防災面では、住居の密集した地域のほぼ中心に位置している。また、高台の2階建てとなっているため、河川増水時の避難場所としても多面的利用が考えられる。観光の玄関口としても、存続が必要だがいかがか。

**A** 駅舎は、骨組みにレールを使用するなど、特異な建造物である。以前は色々な催しや学習の場として、或いは今川増水時の避難場所としても利用されてきた経緯がある。

多目的な利用が考えられるので残したいが、所有者

である平成筑豊鉄道と協議し予算を考える。

行政サービスについて

**Q** 交通弱者にとって、各種申請手続き等は、大変重荷だが利便性を図れないのか問う。

**A** 本人確認が必要な申請書も多々あり、現支所機能ではできないため、連絡があれば最寄り支所と本庁の間は、職員による送迎サービスを行っている。



2階建ての崎山駅舎

**Q** 職員による全地域担当制度はできないのか問う。

**A** 高齢社会が進んで行くなかで、必要な行政サービスと考えるので、実施の時期や方法について十分検討し取り組む。

農業問題について

**Q** 農業委員会では、遊休農地や荒廃農地面積の把握をしているとのことだったが、その後の取り組みについて、お尋ねする。

**A** 現在は、従来通り地域営農組織への紹介であるが、今後は指摘のように、広く斡旋を行う。

**Q** 離農や高齢化に伴い、自己保全管理水田の大半は、地権者による除草作業等ができないのが現状であり、作業委託による料金の一部助成はできないか。

**A** 町内に88ヘクタールある保全管理水田を農業の多面的機能事業で解消したいが、全地域ではないので予

防事業として検討したい。

**Q** 大型害獣の処理施設、或いは人員についてはいかがか。

また、箱ワナの数は充分か。

**A** 現在、不足はないが処理量が増せば、国のジビエにかかると事業を利用し、より充実を図る。

**Q** ジャンボタニシの食害は稲作農家の痛手となっているが、その後の対策について経過を尋ねる。

**A** 県、九州農政局、農林水産省に要望書を提出しているが、指摘のように今後は、厚生労働省や環境省にも要望する。



崎山駅舎正面





浦山 公明  
議員

Q

学童の安全は

A

地域全体で協力を得、取組む

Q 地域地区で子ども見守りやスクールガードの方が意見交換をすれば、安全が更に向上するのではないかと。

A (教育長) 各学校は、校区安全対策会議や駐在所合同連絡会議を開催し、学校と安全見守り隊や保護者との情報共有、意見交換し安全確保に努めている。

Q ボランティア活動の子ども見守り隊や青パトでの活動人数等はいかがか。

A 安全見守り隊として92名の方の登録を頂いている。また、防犯パトロールの青パトは町全体に12台の登録がある。

Q 子ども110番ステッカーや防犯ブザーの点検をしたらどうか。

A 子ども110番の家は409件の登録がある。防犯ブザーについては、再度学校に点検を依頼したい。



子どもたちの登校を見守る見守り隊

住民サービスの向上に繋がるものと考えている。また、有効期限は15歳未満の方は5年更新でその他の方は10年更新となっている。

Q 全国のコンビニエンスストアで住民票、印鑑証明、戸籍証明の取得が出来るようになる。安全対策や利用者への操作周知はどのようになっているか。また、マイナンバーの暗証番号が必須との事であるが、いかがか。

A 強固なセキュリティシステムであり問題ないと考えている。交付時の操作方は町政懇談会等で説明を行うとともに、窓口で相談を受ける。コンビニエンスストアでの交付にはマイナンバーカードと暗証番号が必要である。

Q 地域の活動を活かし、町の活性化に町おこしに夢をもたらず事業と想っている。

。団体数や事業助成年数を伺う。また、期限の延長はいかがか。

A 活用団体は勝山2、犀川5、豊津2である。1団体1事業につき3年を限度とする。ただし、町の発展に寄与すると認められた事業は、5年を限度と規定している。

Q 事業申請、助成金等の審査はいかがか。

A 事業計画、活動計画、収支予算など申請資料に基づき、公平性や審査要領にてらして審査している。

Q 厳しい財政の中、地域おこしのゆめづくり事業を活かし町の活性化に結び付け、事業継続をすべきだ。

A この事業は地域活性化にも役立つている、日本一元気な町にするためにも、まず地域の元気を核として、観光まちづくり課として応援を考えている。

マイナンバーの利用、活用について

Q マイナンバーの提示が求められる。マイナンバー作成は強制的か。また、有効期限はいかがか。

A 強制ではない。社会保障や税、災害対策に活用し

Q

## 地域の子は地域で見守り育み、 将来のみやこ町を支える子どもたちに

A

### 学校と家庭・地域等の連携・協働で 地域づくりを進める



吉 竹 次 男  
議 員

**Q** 小学校は、教育活動、文化・体育的行事を通して、地域コミュニティとしての役割を果たしてきた。学校の統合計画が進んでいるが、今後どのように考えているか。

**A** (教育長) 学校と地域がパートナーとして、連携、協働する仕組みが必要となつてきており、地域と共にある学校、子どもも大人も学び合い育ちあう教育体制の構築、学校を核とした地域づくりを推進していく必要があると考えている。

**Q** 児童生徒の生命にかかわる様々な事件が報道されている。町内における児童

生徒の登下校時の安全確保や非行防止についての取り組みはどうなっているか。

**A** (教育長) 学校と家庭・地域等の連携・協働の中で、安全確保等の取り組みを行っている。また、教育指導計画書において、安全教室の実施など具体的な計画を立て、児童生徒が安全な行動がとれるよう安全教育の充実にも努めている。

**Q** 竹林整備について

**A** 町内における「森林・山村多面的機能発揮対策交付金事業」の実施団体の現状と課題についてどう把握し、支援しているのか。

**A** 平成29年度は町内6組織が取り組んでいる。里山の保全活動、侵入竹除去・竹林整備活動など地域内の里山整備を進める有効な事業と考える。課題は、各組織が直接、地域協議会に採択申請書や補助金交付申請書、実施報告等の書類を作

成し提出する事務手続きとなつているため書類作成が煩雑であることである。町として事務作業の軽減化が図れるよう、地域協議会や国に対して提出書類等の簡素化を要望したい。

**Q** 伐採竹の有効活用はできないか。

**A** 粉碎機でパウダー化し、肥料としての活用やバイオ燃料に転換するなどが考えられる。町は、各種事業を活用して粉碎機の導入等を進めているが、生産者の高齢化や資金調達等により、実施につながついていない。エネルギー等への変換は、竹材の量、輸送コスト、燃料化する施設等課題が多い。町内での実施が可能か今後検討する。

**Q** 「勝山産たけのこ」のブランド化の取り組みを問う。

**A** 今後は、加工品の開発や販路開発等を模索し、生産者、流通事業者、農協、大学等と協働して、ブラン

ド化を進める体制づくりについて考えていきたい。

第2次みやこ町総合計画について

**Q** 計画の中間年を経過しているが、目標指数の達成状況は。

**A** 平成29年度末時点で84施策中24施策がすでに達成済み。達成事業をさらに推進するとともに進捗が遅れがある事業は担当課に指示し、事業の達成を目指す。



竹林整備活動



中山 茂樹  
議員

**Q** 公共施設の統廃合や、昨年来の機構改革により業務の本庁集中化が進み、住民への配慮が欠けて、住民サービスが悪くなったと聞く。悪い点は改善し住民サービスを優先してはどうか。

**A** 町としては、住民の皆様への利便性を損なうことがないように、簡易な業務については、取り扱いについては、

適宜見直しを図るとともに、支所から本所へ送迎サービスに取り組んできた。はり、きゅうの利用券の発行

**Q** 今までは毎月1回支所へはり、きゅうの利用券を受け取れたが、現在は本庁まで行かないともうえな

A

Q

支所窓口業務の改善を求む

簡易な業務については、適宜見直す

人にとっては、月1回本庁まで行くのは、送迎サービスがあるといっても大変な事である。役場の都合でなく、住民に寄り添ったサービスはできないのか。

**A** はり、きゅうの利用券発行方法については、検討し利用者の利便性を高めた

限られた職員配置の中であるが、簡易な業務の取り扱いについては、担当課間で調整を図り、サービスの確保に努めたい。役場の都合でなく、住民の立場に立つことが大事だと思っている。

はり、きゅうの利用券発行については、受給者の負担軽減のため、毎月発給業務を希望に応じて、まとめて複数月の発給ができるよう事務を改善したいと考えている。

**Q** 徒歩で通学できる学校に近い生徒を除いてスクールバスで大半の生徒を送迎できないか。

**A** 現状では、対象地域が広い為、運行距離、乗車時間

**Q** 福祉施設の誘致

**Q** 支所跡地やグラウンドに企業誘致にこだわらず、医療法人や福祉施設等の誘致の考えはないのか。

**A** 介護保険施設等は充足しているため、新たな誘致等の考えは厳しい状況である。

なお、民間レベルで高齢者向け福祉事業などへの希望等があれば、別途検討したい。



スクールバスで通学する子どもたち

が長くなり、現在のバス保有台数では、運行区域を拡大し利用人数を増やすことは困難だと考えている。

今後、犀川地区の小学校再編整備計画の中で運行区域、ルート、必要なスクールバスの台数等を検討し、児童生徒が安心、安全に通学できる環境を整備したいと考えている。

Q

# 身体障害者に係る 軽自動車税の減免制度を

A

## 一層の周知・啓発に努める



柿野正喜 議員

**Q** 関係する軽自動車税の減免制度の周知方法に疑問の声を耳にするが行政はどう周知しているのか。

**A** 前年度に減免申請した方には直接手続きを促す文書を送付し、新たに身体障害者手帳を交付された方には手帳交付時に説明している。その他広報紙やホームページで周知している。

**Q** 申請承認件数は1000件程度だが、29年度の身体障害者手帳交付者数は1137人であり割合として100件をどう判断するか。

**A** 普通車（県税）も対象となるので、ある程度カバーできていると考える。周

知に足りない部分については表示・啓発等の方法について、さまざまな検討・対応をしていく。

### 人口減少問題

**Q** 2万人を切り毎年減り続けている、現状での人口減対策及び今後の人口減対策は。

**A** インフラ整備や光ケーブル整備事業による地域のブロードバンド化の推進、公共交通空白地域にありのりタクシー運行を拡大するほか、農業の担い手育成、情報発信や観光まちづくりのブランド化、定住人口増加のための宅地分譲販売などに取り組んでいる。今後は事業実施によるPDCAサイクルを確立し人口減少問題に対応したいと考えている。

**Q** 人口減少の中でみやこ町のエネルギーを維持するには、健康寿命を1歳でも延ばすことが重要と考えるが。

**A** 各区の要望に応じ保育士・栄養士が出向いて食生活の改善に努めている。また、特定健診によるメタボな体形の改善を推進し健康寿命が少しでも延びるよう努力している。

ここ5年間の人口の推移（3月末現在）

年	人口	増減
26年	21,161人	
27年	20,952人	△209人
28年	20,675人	△277人
29年	20,303人	△372人
30年	19,988人	△315人

### 社会福祉協議会との人事交流

**Q** 現在行っている管理職職員の社会福祉協議会への派遣の目的と効果をどう捉えているか。

**A** 社会福祉協議会を第2福祉課として考え期待を寄せており、職員1人を派遣している。その効果として、町と相互に行う業務の調整、

情報の共有により要支援者への支援など業務の推進が図られている。

**Q** 現状の事務局長への派遣でなく中堅クラスの職員の相互交流を検討してはどうか。

**A** 社会福祉協議会とは密に連携をとっていかなければと考えており指摘の人事交流がどういう形でできるのか一考に値するかと思っている。



犀川のいこの里にある社会福祉協議会

その他に談合情報の対応について質問



中尾 文 俊  
議 員

**Q** 旧今里団地跡に7区画の宅地造成が完成し販売されたが3区画が残っている。小規模の宅地造成は、人口減少や少子・高齢化の現状を踏まえ、安価な土地を提供し、若者の定住に有効な施策である。残り3区画の販売の対応を伺う。

**A** 今里分譲地は3月から販売を開始、現地案内会や広報紙、ホームページ、新聞折り込み、チラシポスターの配布等でPRした。残り

**A**

今後でも事業化したい

**Q**

若者定住施策を問う

り3区画も完売に向けて努力する。  
若者向け住宅は、現時点で決定していない。今後、適地調査や国の補助等を調査し事業化したい。今後も、宅地造成を含め、若者向けの定住施策を検討する。  
名称は変更できるなら検討したい。

したが、碎石は費用がかかり、草刈りも危険になる。現在、神幸祭のみの利用である。2千平方メートルの優良地を地域の発展や人口増のために役立てる方法はないのか、地元と協議をしたい。なお、喫緊の課題である跡地管理は地元や氏子会と協議をしたい。

**Q** 町有地の有効活用を問う  
**Q** 犀川生立の老人憩いの家跡地は、神幸祭の際に露店業者の駐車と神輿の休憩に利用している。本年は、神幸祭開催前に草刈りを実施して頂いたが、神幸祭前に雨が降り、雨水のはけ口が無く、泥濘がひどく、谷口・生立間に駐車し、祭りの見学者に支障をきたした。今後の利用計画が無ければ、舗装や砂利など考えを問う。



犀川生立の老人憩いの家跡地

**交通安全施策を問う**  
**Q** 犀川末江の俗にいう変則5差路は、今日までも事故が多発する箇所である。道路改善の要望をしてきたが実現していない。4月には、救急車3台、消防車も出勤する大きな衝突事故が発生した。運転者は入院し先日退院したと聞く。町道である認識を持つての改善は、行政の責務である。真剣な対応をすべきと考えるがいかがか。  
**A** 末江地区の道路は、集落の連絡道路もあり、変則5差路で視界が悪い。交差点への信号設置を強く要望したが、5差路のため難しいとの回答であった。地元と協議し、法面の張りコンや反射板、路面標示・看板設置等に努力したが、残念だが、4月22日に事故が発生した。今後も、更に安全対策に努めていく。

**A** 跡地の管理を検討

Q

## 築城基地の地元10区の要望は 本年度予算にどう反映しているか

A

10区を含む騒音地域では  
交付金の60%を配分している



柿野 義直  
議員

**Q** 築城基地の地元10区の要望は本年度予算にどう反映しているか。

**A** 10区を含む騒音地域では交付金の60%を配分している。

**Q** 10区の配分割合は。

**A** 9条調整交付金（7700万円）で約25%、再編交付金（5800万円）で20%である。

**Q** 10区の総会では50%を配分すると認識しているか。

**A** 防音工事の対象区域である豊津全域と犀川本庄までの騒音地域に配分すると申し上げた。

**Q** 要望は。

**A** 全要望数は64件。この

うち16件は防衛関連事業でこのうち5件は本年度対応予定、本年以降対応予定は6件、残り5件は騒音関連要望であり今後も国に要望していく。交付金を使わないハード事業のうち23件は今年中対応予定、残り25件のうち13件は次年度以降に対応を検討。このほか12件は県や防衛局に対応を要望している。ソフト事業は10区に特化したものはない。



航空自衛隊築城基地

**Q** 町として整備の基本方針を持つべきと思うか。

**A** 町の総合計画に沿っている。要望に対しては必要性、緊急性などを総合的に判断していく。

嘱託、臨時職員の待遇改善を求める

**Q** 不安定雇用では住民に対するサービスを一層高めることは困難ではないか。

**A** 現在、嘱託、臨時職員の長期雇用を担保するものはない。国は平成29年に地方公務員法及び地方自治法の改正をした。通勤手当、期末手当等の支給も示されている。本年度中に制度設計を行い32年度施行に合わせたい。

**Q** 新しい労働法制では雇用期間は無期となるか。

**A** 雇用は会計年度1年を定めるものであるが、10年といった雇用期限はない。今までより長く雇用できる。

**Q** 賃金のもと女性差別ともとれるが。男女の比率と有資格者数は。

**A** 全体で130人、このうち女性108人（83%）、男性22人（17%）である。資格者はあとで報告する。

教職員の長時間労働是正に向けて

**Q** 国や県の方針を踏まえどう対応するのか。

**A**（教育長）チーム学校として、専門スタッフの活用などで業務の軽減に努める。限られた時間の中で最大限の効果が上げられるような働き方を進めるよう教員の意識改革に努める。

**Q** 業務の削減が必要だと思いが。

**A**（教育長）外国語の授業については負担が大きくなったと感じている。今の状況を維持するという中で、仕事の量を減らすのは大変難しい。



田中 勝馬  
議員

# ふるさと納税 総合戦略について

## A 環境づくりとPRに努める

**Q** 自主財源確保、地域振興等の効果に向けての取り組みについて、寄附者に興味、共感を得るための発信力、アピール等の行政マーケティング戦略の重要性について質問する。

**A** ふるさと納税は、自主財源の乏しい自治体にとって貴重な財源を確保することが出来る制度である。ふ

るさと納税制度における寄附額を増加させるための返礼品の見直しを行い、魅力あるものにし、PRに努める多くの方に寄附をしていただける環境づくりに努める。

**Q** 今日までの寄附総額と件数、大口寄附者の金額について問う。

**A** 平成20年度から累計寄附額は7343万3018

円、件数は2211件。大口寄附者の金額は100万円、件数は3件である。

**Q** 寄附金の使途について問う。

**A** 児童遊園の遊具整備や夢づくり事業への支援などの地域振興事業に充当している。

**Q** 納税者に対する返礼率とPRの仕方について問う。

**A** 返礼率は3割。PRについてはホームページ等のSNSを活用しながらPRの動画を作成し広報の強化を図っている。なお、西日本シティ銀行と包括協定を締結し地域貢献事業として協力をお願いしている。

**Q** ふるさと納税年間目標について問う。

**A** 目標としては、まず予算額を超えることとし、最終的には、生活基盤施設の整備などの大型事業に充当できるように最大限努力する。

観光行政「イベント」について

**Q** 伊良原ダム完成イベントの反省と今後の計画について問う。

**A** ダム完成イベントには、5000人以上の来場者があり、事務局の予想を遥かに超えた。出店された料理等は早期に売り切れ、また、496号線の渋滞並びにシヤトルバスの運行等が追いつかなかったことなど、来場者及び関係者に大変ご迷惑をおかけした。

今後の取り組みとして、観光まちづくり協会等とタイアップし、ダムを中心に伊良とぴあ公園、農家レストラン、森林公園、伊良原学園、更には地域の文化資源である神楽などを一体的に観光資源として県内外に情報発信し、多くの観光客を呼び込んで地域の活性化を推進する。

**Q** 同じ場所でのイベント「国府まつり・風揚げ大会」は別々に行われているが、同時開催は出来ないのか問う。

**A** 子供の安全性の確保が難しいということから、同時開催を見送った経緯がある。しかし、2つのイベントについては行財政改革推進委員会から、他のイベントとの同時開催を検討すべきとの答申が出されている。



伊良原ダム完成イベント「ダム祭」

# Q 公共施設について

## A 実情に合った配置を行う



中尾 昌 廣  
議 員

**Q** 市町村合併の副作用に苦しむ自治体が今年度以降急増する。交付税が減り、また国が制度化した合併特例債が借金として追い打ちをかける。あわせて少子高齢による人口減少が進み、消滅する町村がでると警鐘している。未使用施設の廃止、不の財産を次世代に残さないよう。

**A** 合併してサービス内容や機能が重複した施設を中心に統廃合を検討し、町の実情に合った施設の総量及び配置の適正化を検討する。

**Q** 図書館の撤退について地域に密着した図書館であり、このような教育施設がある所には必ずと言ってよいほど、すばらしい逸材を輩出している。縮小しても残すことは出来ないか。

**A** 他の施設に雑誌や新聞等を配架し自由にくつろげる憩いのスペースの設置を検討する。



犀川図書館

認知症オレンジカフェについて

**Q** 65歳以上で認知症の人は、2012年時点で462万人、軽度認知症は約400万人、団塊世代が75歳になる2025年には高齢者の約700万人が認知症、65歳以上の5人に1人を占める見込みであり、大きな社会問題となっている。町はオレンジカフェを開所し多くのボランティアが参加して頑張っていたらいい。年に数回開所しているが、たまには他区の公民館や民家など啓発と併せて認知症の方や家族の方たちが出やすい環境づくりは出来ないか。

**A** 中央図書館を予定している。地区の公民館、民間施設での開所も検討する。

**Q** 認知症など判断能力の不十分な方々の財産や生活を守るため、家庭裁判所に成年後見人制度を申し立てる件数が、この5年で2.3倍

に急増したとあるが我が町の実態は。制度を利用しやすいよう。

**A** 弁護士会や司法書士会など専門職とも連携しながら、成年後見人制度の利用を促進する。

買い物移動販売はいかに

**Q** 他市町村は移動販売がフル活用で喜ばれているが我が町の現状は。

**A** グリーンコープによる移動販売を7月から予定している。

ふるさと納税について

**Q** 職員の半数が隣町に住しているが、ふるさと納税の納税はいかに。

**A** 29年ふるさと納税は420件、金額1694万4000円。そのうち町外在住職員からも、ふるさと納税制度による寄附があつている。





熊谷 みえ子  
議員

# Q 犀川、勝山図書館の 廃止ではなく、活用を A 公共施設再配置計画など 町政懇談会で説明

**Q** 今後10年で29施設を廃止、2018年度で廃止が決まった支所の写真が掲載された。  
犀川、勝山の図書館も、2020年度で廃止、中央図書館に集約する。小中学校13校、伊良原小中を除き、小学校を3校に、中学校を1校に統合を進める。  
町民1人当たり施設保有

量は9.1㎡から6.6㎡に減少する。ただ、県平均の4.2㎡、全国平均の3.8㎡よりまだ多しと、報道がされた。  
財政負担の軽減を目的にした公共施設の複合化や廃止などで、延べ床面積の縮減が目標だが、再編により、施設が遠くなる、狭くなるといった可能性が大きい。  
読書を通じ、地域の住民の

学習、趣味を支えるなど、役割を持っている。  
**A** 2017年3月に策定した公共施設総合管理計画に掲げる施設のうち重複した施設について、行政改革推進委員会に諮問をした。  
4月の答申内容を尊重、慎重に精査し策定した。  
**Q** 町は基金積立高が基準財政需要額の2倍以上の自治体、積立金が大きい自治体とされ、30位がみやこ町。今年度の積立金残高を見ると、財政調整基金が31億7880万9000円、目的基金も含めれば、132億7718万2000円。町の借金といわれる起債は103億円。ある意味預金のほうが超過している状況である。  
起債で注意すべきは、臨時財政対策債。41億円ほどだがのちに財政的に国から補填がされる約束のものとの借金である。大変健全財政をやっている。



勝山図書館の館内

**A** 確かに今のところはそういう金額はあるが、学校、公民館など、かなりの金額を使わなければいけない。

オンデマンドタクシーなど公共交通の充実を  
**Q** 高齢者の単独世帯数が、2015年で1745世帯。車を運転できなくなったら、閉じこもるしかないのか。  
免許証の返納で、割引を行っている交通会社があるので周知を。町も上乗せで、年間何万円か、タクシー券の配布を考えては。

**A** 豊津地域も早急にあいのりタクシーができるようにして、みやこ町内うまく活用できるようにしていきたい。行橋市へは課題だが、担当課と相談している状況である。



# える子どもたち!



## の児童が議会を傍聴 ～

6月11日の議会には豊津小学校6年生の子どもたち35名が傍聴に来ました。少しですが、ご紹介いたします。

☆わたしは、議会傍聴で2つ思ったことがあります。まず1つ目は、議場に行ったとき机の配置が議会のしやすい配置になっていたの、すごいと思いました。理由は、議長さんを中心に机を置いていたからです。2つ目は、議長さんが議会を進めていって、質疑を議員さんたちがしていたので質疑がなかったら早く終わったので、みんなの協力が議会には必要不可欠だと思いました。

☆私は、みやこ町役場に行って議会を傍聴させていただきました。最初は、議長さんのお部屋を見せていただきました。そして、会議が始まると難しい言葉などもあったけど、1番思ったことは、新幹線のように、どんどん進んでいっていたことです。最後まで聞くことは出来なかったけど、私たちが住みやすい環境があるのは議長さんたちのおかげだと感謝しています。

☆私は議会傍聴で分かったことは議員さんや町長さんなどの意見で、みやこ町のいろいろなことが決まっていることが分かりました。次に思ったことは、前で話すとき、みんなに分かるように話していたので、私も説明するときなど、みんなに分かるようにしたいと思いました。

☆役場に行って議会を見ました。はじめに議場や議長室などを見学させてもらって、ふつうの部屋とはちがいですごくびっくりしました。次に議会を見せてもらいました。議会が始まると、それまでの空気とは真剣なふんいきが流れました。話は少しむずかしかったけど、このようにして、議員さんたちは話し合い、私たちの生活を守ってくれているんだと思いました。

☆議員さんの質問に対する議長さんのすばやい判断が素晴らしいと思いました。聞き取りやすい言葉で話していて、さすがだなと思いました。話し合っている内容は難しかったけれど、議員さんの質問にすぐに役場の人に応答していたことに驚きました。今日学んだことを学級会などの話し合いに生かしていきたいです。

☆議長さんが中心になって話し合いを進めていました。議員さんの質疑に役場の人や町長さんが応答していました。また、質疑がないときは、「なし」「ありません」と言っていたので、進行がスムーズでした。難しい言葉が多かったけれど、みやこ町のことを考えた大切な話をしていることが分かりました。

☆私たちの学級会の話し合いは、やりとりが一往復しかないけど、議会では、三往復半もしていたのが、すごいと思いました。また、質疑の仕方や応答をするときの言い方が、短くまとめられていて、とても分かりやすかったです。学校で話し合いをするときに今日の議会見学で学んだことを生かしたいです。

傍聴に来てくれて  
ありがとう!  
また、勉強に来てね☆





# 地域の将来を考

～ 黒田小学校・豊津小学校

6月7日の議会には黒田小学校6年生の子どもたち27名が傍聴に来ました。また、子どもたちの目に議会はどのように映ったのでしょうか。感想文を頂きましたので、



黒田小学校6年生 傍聴席にて



豊津小学校6年生 議長室にて



黒田小学校6年生 議長室にて



豊津小学校6年生 傍聴席にて

## 議会傍聴のご案内

住所・氏名を記入するだけで、どなたでも傍聴することができます。議員の生の声や表情を議場で見学してみませんか。

次回、9月定例会の招集日は、9月6日の予定です。詳細については、決定次第、ホームページや防災無線等でお知らせします。  
なお、6月定例会の傍聴者は130名でした。

※本会議は、本庁及び各支所ロビーに設置しているテレビで中継しています。また、町ホームページでも平成29年12月定例会よりインターネットによる映像配信を行っています。お気軽にご覧ください。



# がんばりつちよる

## みやこ町文化協会

議会だよりで取り上げていただきました「みやこ町文化協会の活動紹介」ですが、今回が最後となります。今回は、文化協会の主催事業としては最大のイベントとなります、それぞれのエリアで行う発表会について紹介いたします。各エリアに所属する各教室は、発表会に備えて日々練習に励み、日頃の成果の発表を行います。



勝山エリア開催の発表会（文化・芸能フェア）

まずは、「文化月間記念発表会」について紹介します。例年、10月・11月の「文化月間」期間中に行う「豊津エリア」の発表会ですが、平成29年度は11月4日（土）・5日（日）の日程で行いました。展示部門は、俳句、短歌、華道、絵画教室の作品出展及びお茶席が設けられ、5教室で50名を超える会員の参加がありました。芸能部門は5日のみですが、日舞、社交ダンス、コーラス、カラオケ教室の出演があり、7教室で70名程の会員の参加がありました。

次に、「産業祭記念発表会」について紹介します。例年、11月の「産業祭」期間中に行う「犀川エリア」の発表会ですが、平成29年度は11月18日（土）・19日（日）の日程で行いました。展示部門は、俳句、絵画、書道、写真、生花、園芸、郷土史、ステンドグラス、フラワーアレンジメント教室の作品出展及びお茶席が設けられ、15教室で130名を超える会員の参加がありました。芸能部門は19日のみですが、舞踊、合唱、民謡、詩吟、健康体操の出演があり、7教室で70名程の会員の参加がありました。

最後に、「文化・芸能フェア」発表会について紹介します。例年、3月に

行う「勝山エリア」の発表会ですが、平成29年度は平成30年3月3日（土）・4日（日）の日程で行いました。展示部門は、俳句、絵画、書道、あみもの、パッチワーク教室の作品出展及びお茶席が設けられ、6教室で60名を超える会員の参加がありました。芸能部門は4日のみですが、舞踊、ダンス、太鼓、カラオケ教室の出演があり、12教室で90名程の会員の参加がありました。

以上、文化協会で行っている町協働事業・主催事業の活動を中心に紹介させていただきましたが、その他にも町内外のイベントへの参加、施設の慰問等を行っています。イベント等でお会いできましたら応援をよろしくお願いたします。

また、文化協会は今後もみやこ町の生活文化の向上に寄与することを目的に活動していきます。興味がある教室がありましたら参加を歓迎いたしますのでご連絡ください。

### 連絡先

みやこ町文化協会 事務局

野口 明

TEL 0930-13314666

みやこ町歴史民俗博物館内

(教育委員会生涯学習課文化係)

### 編集後記



暑中お見舞い申し上げます。昨年と全く同じ7月5日から降り続いた西日本豪雨は、平成最悪の被害となり、13都道府県で死者、行方不明者200人強とも言われています。

死者100人以上を出した豪雨災害は、1983年に鳥根県を中心に被災した以来で、雨の量も観測史上最大を更新し、十数年に一度の重大な災害と言われています。亡くなられた方のご冥福と、行方不明者の一刻も早い救出をお祈りします。復旧、復興を願ってやみません。

梅雨も明け、いよいよ夏本番となり、日増しに暑さが厳しくなりますが、熱中症や日射病に留意しご自愛ください。

議会広報について、皆様からのご意見ご感想をお待ちしています。

田中 勝馬

### 議会広報特別委員会

- 委員長 田中勝馬
- 副委員長 柿野正喜
- 委員 肥喜里雄二
- 吉竹次男
- 中山茂樹
- 飯本秀夫
- 熊谷みえ子
- 発行責任者 熊谷みえ子